

岡崎市森林整備ビジョン（概要版）

～ めぐみ・うるおい・やすらぎが共生する 岡崎らしい森林 ～



岡崎市

平成23年3月 策定
令和 3年3月 改訂

1. 岡崎市森林整備ビジョン策定の背景

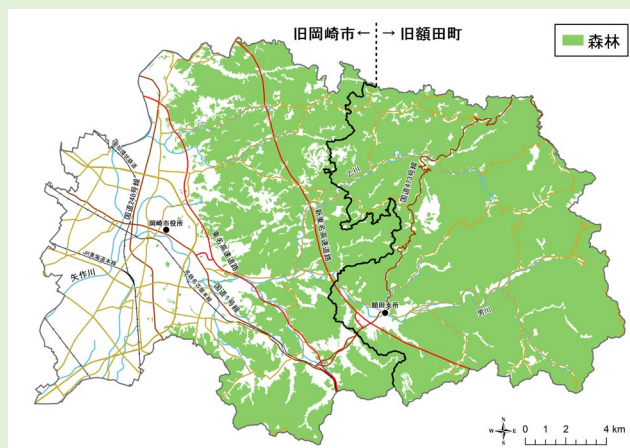
●本市の約 60%を森林が占めています

本市は 2006 年 1 月に額田町と合併し、市域の約 60%を森林が占めることとなりました。

くらがり溪谷には天然林が、額田地域には主にスギとヒノキの人工林が分布しています。

また、市街地周辺には、かつて薪炭林として利用されてきた里山林が分布しています。

森林には（参考）に示したような様々な働き（「多面的機能」）があり、私たちは、森林の恩恵をたくさん受けて生活しています。

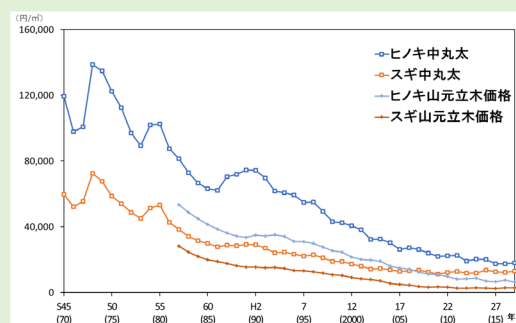


〔岡崎市の森林〕

●森林の働きの低下が危ぶまれます

森林の多くは、立木、丸太価格の長期低迷や高齢化による林業従事者不足などにより必要な森林の手入れを行うことが困難な状況となっています。

このまま森林が放置され続けると、良質な木材を作り出すことができなくなるばかりか、森林の持つ公益的機能の低下にもつながります。

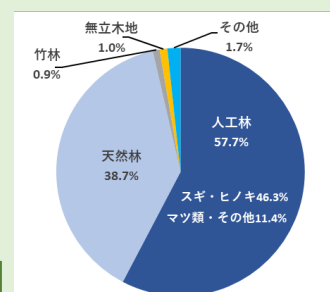


〔木材卸売価格の推移(全国) (消費者物価指数反映)〕

●人工林の手入れを行うことが必要です

本市の森林の約 46%を占めるスギ・ヒノキの人工林の多くは、樹木の健全な成長のために本数を調整する「間伐」が十分に行われていない状況です。

良質な木材を作り出し、かつ、公益的機能が十分に発揮される森づくりに向けて、適切に間伐を行っていくことが求められます。



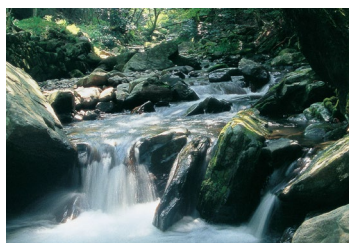
〔本市の森林の種類〕

本市の森林・林業の現状と課題を明らかにし、市民、企業、行政などが協力して森づくりを進めるため、2010 年に岡崎市森林整備ビジョンが策定されました。

（参考） 森林の主なはたらき（多面的機能）

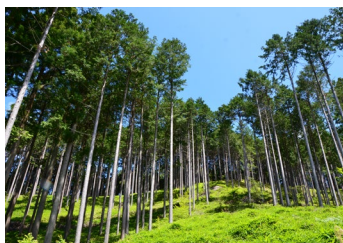
■水源かん養（緑のダム）

雨水を土壌に貯め、ゆっくりと下流へ流していくため、洪水を防ぎ、渇水を緩和しています。



■土砂災害防止・土壌保全

地表面の低木や草、落葉や、木の根などにより、土壌を崩れにくくし、災害を防止しています。



■生物多様性保全

多様な野生動植物の生息・生育の場となっています。



2. ビジョンの考え方

●対象とする森林

ビジョンでは、市内の全ての森林を計画対象とします。

里山林と天然林については、「水循環総合計画」や「環境基本計画」などの既存計画の内容を踏まえることとし、人工林については、本ビジョンで新たな管理・整備方針を定めます。

ビジョンの対象とする森林



ビジョンで新たな
管理・整備方針を定める



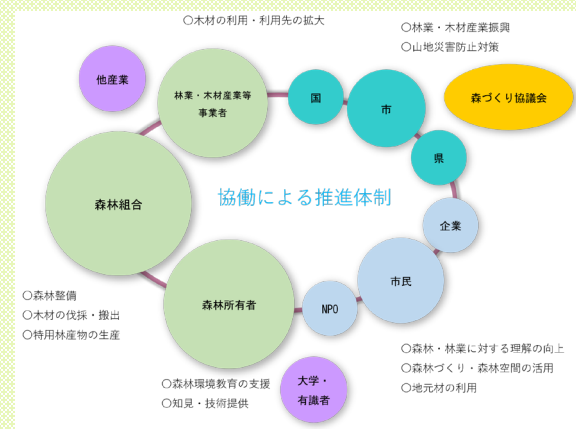
他の関連計画の
管理・整備方針と連携する

●計画期間

ビジョンは、策定から100年後の2110年を長期目標としています。30年後の2040年を中期の計画期間に設定し、10年後である2020年に、社会・経済・環境の変化を踏まえ、今回、見直しを行いました。



[ビジョンの計画期間]



[ビジョンの推進体制]

●推進体制

100年後の望ましい森林の姿を実現するために、森林所有者や森林組合、行政に加え、市民・企業等の主体的な取組や、市民・企業と行政との協働による取組を実施していきます。

わたしたち一人ひとりが、将来に受け継ぐべき財産として森林を大切に守り育てていくために動き出さなければいけない時期にきています。

■地球環境保全

二酸化炭素（CO₂）を吸収・固定し、地球温暖化の防止に役立っています。



■物質生産

木材、香料や染料の原料、きのこや山菜などをわたしたちに提供してくれます。



■保健・レクリエーション

わたしたちに癒しや安らぎ、心身のリフレッシュ効果を与えてくれます。



3. 100年後の望ましい森林と私たちの暮らし

森林づくりは「100年の計」であり、50年先、100年先という長い目でそれらの成長の様子をイメージしながら計画的に日々の手入れを実施していく必要があります。適切な手入れにより得られた木材やその他林産物を循環利用するとともに、水源涵（かん）養、土砂災害防止、レクリエーションなどの森林の持つ公益的機能が十分に発揮されるような、持続可能な森林づくりを行うことが重要です。

本市における100年後の望ましい森林の姿を、次のように考えます。



めぐみ・うるおい・やすらぎが共生する 岡崎らしい森林

100年後の望ましい森林の姿である「めぐみ・うるおい・やすらぎが共生する 岡崎らしい森林」を実現するために、放置人工林の解消や地元材の利用促進、市民・企業等の森林づくり・森林空間の活用の推進など、18の施策について取り組んでいきます。



[100年後の望ましい森林の姿]

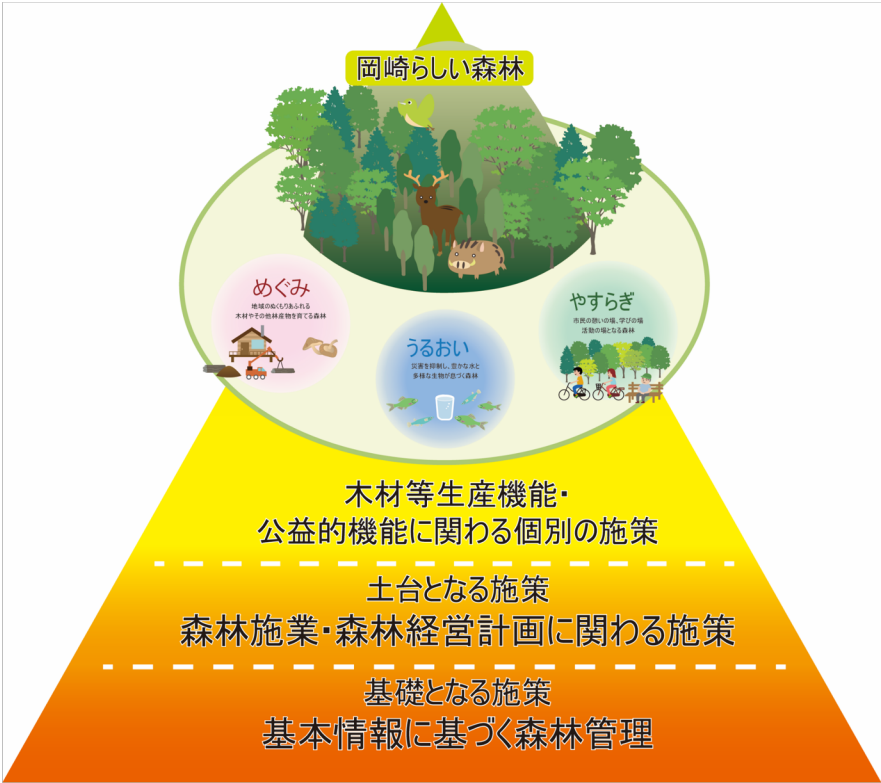
4. ビジョンの施策体系

本市の森林・林業の現状を踏まえて設定した100年後の目標を実現するための18の個別施策を示します。また、森林・林業とSDGsとの関係を示します。

本市の森林・林業の現状

- 旧額田町では人口が減少傾向で、また、高齢化が進んでいる。
- 市街地に居住する市民に、森林・林業の現状に対する理解が十分に浸透していない。
- ニホンジカによる食害等の被害が報告され、対応について問題になっている。
- 市域の約60%を森林が占め、その森林を水源林とする乙川や矢作川の豊かな水資源に恵まれている。
- 製材品の原材料となる立木や丸太の価格が、長期に渡り低迷している。
- 持続的に木材生産する意欲のある森林所有者に、その貢献にふさわしい対価を支払うことができていない。
- 間伐が必要なスギ・ヒノキの人工林の多くが放置されており、森林の持つ公益的機能が損なわれつつある。
- スギ・ヒノキの人工林の大部分が、伐期適齢期を迎えている。
- 市域の森林の約90%が、私有林であり、その半数以上は小規模所有である。
- 森林整備や森林資源の活用をするために必要な情報や取り扱いが、まとまっていない。

基本方針



個別施策

- 森林人材育成に関わる施策**
 - ・所有森林を活用する意識の向上
 - ・林業の担い手の育成・確保
- 森林情報発信に関わる施策**
 - ・森林環境教育の推進
 - ・市民・企業等の森林づくり・森林空間の活用の推進
 - ・森林づくりに関する情報の整備と発信
- 森林被害対策に関わる施策**
 - ・森林被害対策の推進
- 森林の公益的機能に関わる施策**
 - ・山地災害への備え
 - ・緑のダム機能の向上
 - ・森林の適切な管理・保全
 - ・野生動植物の保護
 - ・多様な森林づくりの推進
- 木材生産機能に関わる施策**
 - ・木材製品の利用促進・利用先の拡大
- 森林施策・森林経営計画に関わる施策**
 - ・放置人工林の間伐の推進（緊急）
 - ・不明瞭な林地境界の解消・明確化（緊急）
 - ・施業の団地化・集約化の推進（緊急）
 - ・路網整備の促進（緊急）
 - ・森林施業の安全性を確保した高性能林業機械等の導入促進
- 森林を管理する基盤に関わる施策**
 - ・森林情報の集積・一元化と活用（緊急）

森林・林業とSDGsとの関係



5. 個別施策の推進期間と目標

18の個別施策の推進期間と目標とする指標について以下に示します。目標とする指標について集計することで、施策の進捗管理を行っていきます。

個別施策	年					指標
	2010	2020	2030	2040	2110	
⑱ 林業の担い手の育成・確保	→	→★				林業経営体の総就業者数
⑰ 所有森林を活用する意識の向上		→	→★			森林活用意識の高い森林所有者割合
⑯ 森林づくりに関する情報の整備と発信	→	→★ 2022年運用				森林所有者等向けHP作成 森林所有者変更時の案内文書発送 市民・企業向けHP・SNSの作成
⑮ 市民・企業等の森林づくり ・森林空間の活用の推進	→	→	→★			連携した数
⑭ 森林環境教育の推進	→	→★				自然体験・学習プログラム参加者
⑬ 森林被害対策の推進	→	→★ 2022年				ニホンジカ捕獲数 松くい虫被害と防除実績 カシノナガキクイムシ被害と防除実績
⑫ 多様な森林づくりの推進	→	→	→	→	→	人工林面積 針広混交林面積 天然林面積 里山林面積
⑪ 野生動植物の保護	→	→★				岡崎市版レッドデータリストの改訂
⑩ 森林の適切な管理・保全	→	→	→	→	→	林地開発許可件数と面積 市有林の整備実績面積
⑨ 緑のダム機能の向上	→	→	→			モデル林の選定 調査方法の検討 施設の設置
⑧ 山地災害への備え	→	→	→			締結した協定数
⑦ 木材製品の利用促進・利用先の拡大	→	→ 2022年運用等	→	→	→	木材利用の目標設定 トレーサビリティ導入支援 サプライチェーン構築 研究会等の実施回数 地域商社設立
⑥ 森林施業の安全性を確保した 高性能林業機械等の導入促進	→	→	→	→	→	高性能林業機械保有台数
⑤ 路網整備の促進（緊急）	→	→	→	→	→	基幹路網（林道）の総延長
④ 施業の団地化・集約化の推進（緊急）	→	→	→			意向調査実施済み面積 団地化済み面積
③ 不明瞭な林地境界の解消・明確化（緊急）	→	→	→			林地境界確定済み面積
② 放置人工林の間伐の推進（緊急）	→	→	→★			放置人工林を含む地番の間伐面積
① 森林情報の集積・一元化と活用（緊急）		→ 2022年導入・運用	→	→	→	岡崎市版森林簿（仮）の整備 岡崎市版森林簿（仮）の管理・運用

→ 運用 ★ 目標の再検討



岡崎市森林整備ビジョン（概要版）

岡崎市経済振興部森林課 〒444-3696 愛知県岡崎市檜山町字山ノ神 21 番地 1
TEL (0564) 82-4123 / FAX (0564) 82-4124